

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	離島を支える多様な人材の育成	
施策	①離島の産業・生活を支える人材の育成・確保		
(施策の小項目)	○離島の活性化を担う人材の育成		
主な取組	沖縄らしい風景づくり推進事業	実施計画 記載頁	332
対応する 主な課題	○離島においては、少子化に加え若者の流出が著しいことから、本島に比べ高齢化が急激に進展しており、地域産業や地域づくりの担い手が不足している状況にある。このため、離島産業の活力増大や住民生活の質の向上に貢献し、地域を活性化できる人材の育成・確保が課題である。		

1 取組の概要(Plan)

取組内容	離島を活性化できる人材の育成を目的として、風景・まちなみの再生を先導する地域に根ざした風景づくりリーダー等を育成する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	プログラム 作成	300人 講習修了数			→		県
	景観形成人材育成					→	
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成26年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
沖縄らしい風景づくり推進事業	55,297	54,918	平成24年度に策定した「沖縄の風景づくりに係る人材育成計画」に基づく人材育成を実施した。平成26年度は、風景づくりサポーター、景観行政コーディネーターに加え、地域をまとめ地域活動をリードする地域景観リーダーの育成として講習会等を開催した。	一括交付金 (ソフト)
活動指標名			計画値	実績値
講習修了数			300人	887人
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果			
順調	講習修了数について、平成26年度の計画値300人に対して実績値887人と順調に進んでいる。 風景づくりに係る人材育成が実施されることにより、地域の良好な景観形成に必要な人材が育成され、沖縄らしい風景づくりに寄与する。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
沖縄らしい風景づくり推進事業	73,982	風景づくりに係る人材育成(計画値300人)を実施する。	一括交付金 (ソフト)

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

人材育成においてワークショップを6回(6地区)開催するなど、地域の風景づくり活動を行う地域景観協議会設立等に向けた地域支援を行ったが、協議会の設立までには至っていない。育成された人材が活動できる機会、場を創出するため、地域景観協議会設立に向け引き続き取り組んでいく必要がある。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
離島における工芸産業従事者数	415人 (22年)	409人 (25年)	430人	△6人	1,707人 (22年度)
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
-	-	-	-	-	-
状況説明	現在、成果指標の達成に向け事業進捗中。 (参考)工芸産業従事者数の増のあたっては、県民の工芸産業に対する意識向上が必要なため、地域住民を対象に、地域景観を形成する赤瓦等の歴史や修復技術などの講演会を1回開催した。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・多くの地域住民は、風景・まちなみづくりへの関心が低いとの市町村からの意見もあり、地域景観協議会の設立には至っておらず、風景づくりに係る人材育成後、育成された人材が活動を実施できる体制が整備されていない。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・地域景観の形成を図る人材育成について、H26実績値が計画値の倍以上となっていることから、活動指標の上方修正を検討する。

4 取組の改善案(Action)

・育成された人材が活動できる機会、場を創出するため、地域景観協議会等の設立に向け、市町村及び地域住民との協議を行っていく。